

### ■米国：CAISOは今夏の南部カリフォルニアでの供給信頼度に警告

2013年5月6日付のカリフォルニア ISO (CAISO) の発表によれば、同州の今夏のシステム全体のピーク需要は、4,741.3 万 kW に達すると予想している。2012年の実績は 4,667.5 万 kW であり、過去最大は 2006 年の 5,027 万 kW であった。カリフォルニア州全体としては十分な電力の供給を予測しているものの、サンオノフレ原子力発電所 (SONGS) の 2 号機および 3 号機の両ユニットは、使用不能であるとみなされ、ハンティントン・ビーチ火力発電所の 3 号機と 4 号機の廃止に伴い、同火力からの電力は全く南カリフォルニアには来ておらず、更に経済成長により、昨年比で電力需要のピーク予想は 2% 以上増加している。こういった理由で、この夏南部オレンジ郡とサンディエゴ郡での供給信頼度リスクについて、「ぎりぎり挑戦」的な夏であるが、計画の範囲内であるとしている。CAISO は、上記の両郡では SONGS の停止による停電よりも、熱波や予想を上回る発電所事故の多発、あるいは山火事やその他の理由によって引き起こされる送電線制約の方が、系統の供給信頼度上の課題となることを警告している。